

大学ならではの学びを体験 文京学院生が高校生に7つの専門分野の講座を展開

～ふじみ野高校との7年目の「まなびとあそびのキャンパス」開講～

文京学院大学は、2016年12月15日(木)、ふじみ野キャンパスにおいて、埼玉県立ふじみ野高等学校の1年生160名に対し、本学学生が中心となり授業を行う「高校生のまなびとあそびのキャンパス」を実施します。本活動は、高等学校と大学が連携する教育活動“高大連携”の一環として行われ、今回7年目を迎えます。

「高校生のまなびとあそびのキャンパス」の目的

本学は地域に根ざした大学を目指し、大学が有する“知”を地域に還元するさまざまな取り組みを行っています。その中の一つが、高等学校と大学との連携(高大連携)における取り組み「高校生のまなびとあそびのキャンパス」です。この取り組みは、近隣の高等学校と学びの場の連携・協力を進め、高校生に対して大学教育の一端を紹介し、大学や授業の雰囲気を感じてもらうことを目的としています。

さらにこのプログラムでのポイントは、大学生が講義を披露することで、それを見聞した高校生が自らの大学生像を描きそして進学を目指していく要因としての導きも大切にしていることです。学生も講師として中心的な役割を担い、実際の活動を通じた学習を高校生と行うことが切磋琢磨となり大学生においても教育効果を得ることができると確信しています。

「高校生のまなびとあそびのキャンパス」の概要

今回の「高校生のまなびとあそびのキャンパス」は、ふじみ野キャンパスが擁する「人間学部」の人間共生・環境、児童発達、福祉、心理分野と「保健医療技術学部」の理学療法分野が連携し、実施します。各分野で学ぶ学生が指導教員のサポートを受け、7つの講座に分かれ50分間の講座を展開します。

また、今年は初めて、特別講座終了後にふじみ野高校生徒会役員生徒10名と高校教員3名、本学人間学部木村浩則学部長をはじめとする3名の教員と懇談会が開かれ、今回のプログラムの振り返りと次年度のプログラムについての意見交換を行います。



昨年の様子

当日スケジュール

当日は、全体講話と特別講座と懇談会の3部構成となります。全体講話は参加者全員が共通するテーマを学び、その後の特別講座では、参加者各自の興味に基づき7つの講座から1つを選択します。すべて終了後、懇談会を実施します。

日時：2016年12月15日(木) 9:30～12:15

会場：文京学院大学ふじみ野キャンパス (〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)

対象：埼玉県立ふじみ野高等学校 1年生 160名

内容：

<開校式> 9:30-9:45

<全体講話> 9:45-10:30

講義名：「大学生による地域支援のあり方 ～越生町龍ヶ谷地区での取り組み～」

担当者：人間学部 コミュニケーション社会学科 古市 太郎 助教

概要：埼玉県入間郡越生町龍ヶ谷地区での大学生による地域支援の取り組みとその意義について講演します。

<特別講座>10:50-11:45

講座名: 「スポーツ障害について」

担当者: 理学療法学科 学生/上田 泰久 助教(保健医療技術学部 理学療法学科)

概要: ヒトの身体について学び、スポーツ障害の予防に関する講義・実技を行います。

講座名: 「子どもの運動遊びから身体を考えてみる」

担当者: 児童発達学科 学生/小栗 俊之 教授(人間学部 児童発達学科)

概要: 子どもの運動遊びは心身の発達にとっても大切な働きがあります。「握手ゲーム」「人間知恵の輪」「あんたがたどこさ」「キャッ・キャッ・キャッチ」などなど、楽しいレクリエーションを通して、子どもの身体の発達について考えます。

講座名: 「環境カードゲームでエコを学ぼう」

担当者: 児童発達学科 学生/木村 学 准教授(人間学部 児童発達学科)

概要: カードゲームを楽しみながら、私たちの地球の生態系がどのようにつながっているのかを学びます。そして未来のエネルギーについて考え、持続可能な社会をいかにして構築できるのか皆で知恵を出し合ひましょう。

講座名: 「介護福祉の技術を学ぶ～シーツ交換～」

担当者: 人間福祉学科 学生/梶原 隆之 教授(人間学部 人間福祉学科)

概要: 睡眠は人間が生きていくために必要不可欠なもののひとつです。脳は眠ることしか休息ができません。安眠するためには寝具を清潔に保ち、常に乾燥させておくことが大切です。安眠の環境を整えるために、寝たままの人がいてもできるシーツ交換の方法を学びましょう。

講座名: 「楽しく学ぶ! 心と体の関係性」

担当者: 心理学科 学生/長野 祐一郎 助教(人間学部 心理学科)

概要: 緊張すると指先の血管が収縮し、皮膚の温度が下がります。この授業では、罰ゲームつきのすごろくを行い、ハラハラどきどきすることで、指先の温度がどんなふうに変化するのか体験学習します。

講座名: 「こころの不思議を体験しよう! ～人を見る・人に見られる～」

担当者: 文野ゼミ3年生/文野 洋 准教授(人間学部 心理学科)

概要: 私たちの「こころ」は自分たちが気づかないところで、いろいろな影響を受けています。この講座では、さまざまな心のはたらきのうち「人を見る・人に見られる」ときの特徴について、簡単な実験を通じて体験的に学びます。

講座名: 「食べ物とキョリ -7093-」

担当者: 環境教育コーディネーター 学生/森下 英美子 研究員(環境教育研究センター)

概要: 日本で生活する中で輸入品は随所に見られます。その輸入品についても価格だけでなく運搬時の環境負荷を考慮して購入する基準として、フードマイレージがあります。ゲーム等を通じて、フードマイレージを学び、環境に配慮することとはどんなことであるかを学びます。

<懇談会>11:45~12:15

参加者: ふじみ野高校生徒会役員生徒 10名、ふじみ野高校教員 3名、本学教員 3名

概要: 今年のプログラム内容の振り返りと次年度プログラムについての意見交換

<埼玉県立ふじみ野高等学校について>

2013年、埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例の施行により、埼玉県立大井高等学校と埼玉県立福岡高等学校が統合され、埼玉県立ふじみ野高等学校が開校されました。全日制普通科・体育科・スポーツサイエンス科の全3学科を持っています。

<文京学院大学について>

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。